

1 ひとを育む

134億円 (対前年 +15億円)

- 合計特殊出生率は1.50（平成28年）と全国平均を上回っているものの前年より減少
- 幼児期の確かな成長への支援や、児童生徒の情報活用能力の習得が急務
- 全国規模のスポーツ大会・文化祭を控え、その気運醸成や開催準備が必要

未来を拓く子どもへの重点投資、文化・スポーツの更なる振興

<p>未来を拓く 子どもを育て る環境づくり</p>	<p>110.6億円 (対前年+12.5億円)</p> <ul style="list-style-type: none">増 第2子保育料等無償化、在宅育児世帯支援(+3.3億円)増 保育士等処遇改善 (+3.6億円)増 認定こども園整備 (+1.9億円)	<ol style="list-style-type: none">1 第2子保育料等無償化、在宅育児世帯支援 (P5)2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を推進 (P8)3 情報活用能力を育成する教育カリキュラムを構築 (P9)
<p>みんなが 活躍できる 社会づくり</p>	<p>22.9億円 (対前年+2.0億円)</p> <ul style="list-style-type: none">増 ねんりんピックの開催準備(+0.8億円)増 国文祭・障文祭・高総文祭の開催準備 (+0.3億円)	<ol style="list-style-type: none">4 国文祭・障文祭・高総文祭の開催準備 (P11)5 ねんりんピック・ワールドマスターズゲームズの開催準備 (P12)6 企業同盟・人材バンク・就活サイクル等を更に推進 (P13、P14、P15)

1 ひとを育む

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

未来を拓く子どもを育てる環境づくり

1. 子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり

◇紀州っ子いっぱいサポート・在宅育児支援

726,855 (400,200) P5

経済的理由で子どもをもつことをあきらめることがないよう、多子世帯への保育料等無償化の拡充に加え、在宅育児世帯への支援を実施

◇子育て相談体制の強化 43,168 (32,473) P6

安心して子どもを生み育てられるよう、身近な地域において子育て世代のニーズに対応したきめ細やかな支援を実施

◇不妊治療費の助成（こうのとりサポート）121,038 (118,897)

不妊治療の初期段階から高度治療まで、全ての段階で切れ目なく総合的に支援

◇女性や子育て世代が活躍できる社会づくり 7,034 (4,057) P13 〈成長サポート資金融資枠25億円〉

「女性活躍企業同盟」「結婚・子育て応援企業同盟」の更なる発展を図るとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進

◇多様なニーズに対応した子育て支援の充実 29.6億円 (25.4億円)

一時預かりや延長保育、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業など、子ども・保護者のおかれている環境に応じた子育て支援を促進

◇待機児童解消対策 530,194 (378,756)

年度途中の待機児童を解消するため、認定こども園等の整備支援や、仕事と育児の両立支援など、保育・育児環境の整備を促進

◇子どもの貧困対策の推進 96,334 (75,719) P50

子どもの将来が生まれ育った環境で左右されないよう、「貧困の世代間連鎖を断ち切る」取組を推進

◇きのくにコミュニティスクール推進 36,085 (49,035) P7

学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と地域が連携・協働した取組を推進

2. 子どもたち一人一人が志高く未来を創り出す力を育む教育の推進

◇幼児教育総合プロジェクト 11,261 (-) P8

幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、小学校就学までに育てたい具体的な子どもの姿を示し、成長に応じた切れ目のない取組を推進

◇きのくに学力向上総合戦略 32,709 (39,050)

児童生徒の学力向上のため、授業改善や補充学習等を通して指導を充実するとともに、優れた実践力をもつ退職教員等をアドバイザーとして派遣

◇きのくにICT教育 54,231 (-) P9

これからの情報化社会において必須となる情報活用能力を育み、来るべき社会で活躍できる人材を育成するため、県独自のICT教育カリキュラムを構築

◇ふるさと教育の推進 12,906 (-) P10

ふるさとを愛する心を育てるため、県版ふるさと教科書「わかやま何でも帳」を活用したふるさと教育を推進するとともに、その知識を試す機会を創出

◇道徳教育の推進 - (-)

県独自の道徳教科書「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用した道徳教育を推進

◇不登校等総合対策 326,164 (315,486)

不登校の解消に向け、未然防止、早期発見・早期対応、学校復帰までの各段階に応じた取組を総合的に実施

◇県立医科大学薬学部開学に向けた取組の推進

436,664 (126,949)

県立医科大学薬学部開学(2021年4月予定)に向けた整備を推進

1 ひとを育む

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

ひと

ついで

いのち

くらし

地域

みんなが活躍できる社会づくり

1.誰もが働きやすく、多様な人生を楽しめる社会づくり

◇わかやま元気シニア生きがいバンク 9,537 (15,518) P14
80歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化

◇女性や子育て世代が活躍できる社会づくり【再掲】
7,034 (4,057) P13

〈成長サポート資金融資枠25億円〉

「女性活躍企業同盟」「結婚・子育て応援企業同盟」の更なる発展を図るとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進

◇和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト
31,241 (34,922) P15
「就活サイクル」の地域社会への更なる浸透を図るため、県内各地でセミナーや合同企業説明会を開催

2.共に支え合う地域社会づくり

◇クリーンアップによる県民運動推進 4,043 (-) P49
ごみ拾いをスポーツやソーシャルネットワーク(SNS)と組み合わせることで、県民が美化活動に楽しく参加できる仕組みを構築

3.健康で心豊かにすごせる社会づくり

◇健康長寿わかやま県民運動推進 13,199 (34,617) P42
「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、関係機関が連携を深めて様々な施策を効果的に実施することで健康づくりを強力に推進

◇生涯を通じたスポーツの振興 130,125 (51,403) P12
「ねりんピック紀の国わかやま2019」や「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」等を通じて、生涯スポーツを推進

◇和歌山の文化力向上 34,608 (8,918) P11

2021年度の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭に向けて、文化芸術活動への参加の気運を高め、裾野を拡大

◇南葵音楽文庫 45,046 (57,067)
紀州徳川家に縁のある音楽文化資源「南葵音楽文庫」を研究・評価するとともに、音楽文化に親しむ機会を充実

紀州っ子いっぱいサポート・在宅育児支援

平成30年度：726,855千円
(400,200千円)

経済的理由で子どもをもつことをあきらめることがないよう、多子世帯への保育料等無償化の拡充に加え、在宅育児世帯への支援を実施

【現行制度】

就業と子育ての両立を支援し、保育所等へ預ける世帯の経済的負担を軽減

第3子保育料等無償化



紀州3人っこ施策

H20事業開始

保育所入所の3歳未満児対象

H28対象範囲拡大

対象年齢を小学校就学前まで拡大

対象施設に幼稚園、認定こども園等を追加

保育料等無償
(0歳～就学前)
第3子以降



所得制限なし



【新制度】

保育料等無償化の拡充に加え、在宅育児世帯への経済的支援を実施

①第2子保育料等無償化

保育料等無償化の対象に第2子を加え、「紀州っ子いっぱいサポート」として推進



②在宅育児支援

保育所等に預ける世帯だけではなく、在宅で育児をする世帯を新たに支援(0歳児を在宅で育児する場合に支援)



保育料等無償 (0歳～就学前)	新規 保育料等無償 (0歳～就学前)
新規 在宅育児支援 (0歳時)	新規 在宅育児支援 (0歳時)
第3子以降	第2子

所得制限なし

所得制限:年収約360万円



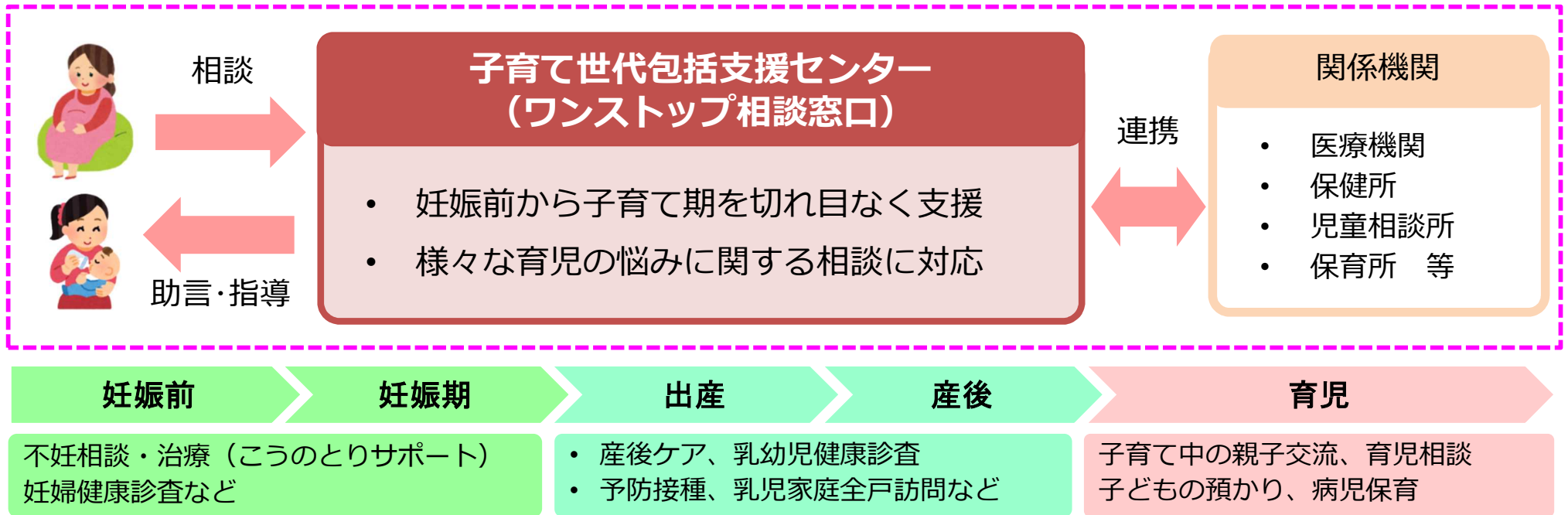
合計特殊出生率
2.0達成へ



子育て相談体制の強化

平成30年度：43,168千円
(32,473千円)

安心して子どもを産み育てられるよう、身近な地域において子育て世代のニーズに対応したきめ細やかな支援を実施



1 ワンストップ相談窓口の**全県的展開**

2019年度末までに全市町村に相談窓口を設置

2 ニーズに合わせ、**きめ細やかなサービス**の提供

相談内容に応じ、保健師等が必要な情報提供・助言・保健指導を実施



きのくにコミュニティスクール推進

平成30年度：36,085千円
(49,035千円)

学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と地域が連携・協働した取組を推進

きのくにコミュニティスクール

学校

校長

説明 ↓ ↑ 意見

学校運営協議会

- 学校運営の基本方針の承認
- 課題解決のための具体的な手立てを協議
- 『報告会』の実施

<構成員>
共育コミュニティ代表、保護者代表、
企業代表、他校種校長 等

学校から地域への要請



地元企業による講演会

学校行事への参画
放課後の学習支援
など

地域行事への参画
地域合同避難訓練
など



清掃活動への参加

地域から学校への要請

地域



きのくに共育コミュニティ

(活動例)

- 子どもの居場所づくり
- 本の読み聞かせ
- 登下校の見守り

<構成員>
コーディネーター、学校支援ボラン
ティア 等

2019年度までに県内全ての公立学校へ導入

学力の向上、いじめ・不登校などの教育課題の解決、地域の活性化

幼児教育総合プロジェクト

平成30年度：11,261千円
(新規)

幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、小学校就学までに育てたい具体的な子どもの姿を示し、子どもの成長に応じた切れ目のない取組を推進

○幼児教育と小学校教育との接続

- 小学校就学にあたっての課題を整理
- 幼児教育において育てる具体的な子どもの姿を提示



すべての幼稚園・保育所・認定こども園、小学校での取組を進めるために・・・

- 1 県の幼児教育基本方針（仮称）の策定
- 2 接続期カリキュラムの作成手引きの作成
- 3 幼児教育の実践事例集の作成

幼児教育から小学校教育への
円滑な接続を実現



きのくにICT教育

平成30年度：54,231千円
 (新規)

これからの情報化社会において必須となる情報活用能力を育み、来るべき社会で活躍できる人材を育成するため、県独自のICT教育カリキュラムを構築

学年に応じた授業内容の確立

モデル校での授業〔小・中・高校 各2校〕

	現 状	モデル校
小学校	現行学習指導要領には位置付けられていない	5・6年生で各学年8時間のプログラミング教育を実施
中学校	3年間で9時間程度	3年間で計25時間のプログラミング教育を実施
高校	約8割の学校（普通科）がプログラミング教育を行っていない	県独自のプログラミング教育を実施

専門家・現職教員による検証

2019年度からすべての小・中・高校で実施

企業等と連携したICT教育

高度なプログラミング教育

中学校・高校のパソコンクラブに県内ICT企業等から指導者（システムエンジニアなど）を派遣

〔指導内容〕

高度なプログラミング言語の習得、
 動作制御プログラム、スマホアプリ開発、
 3Dゲーム開発 など



指導者
 派遣



より
 高度に

情報活用能力を身につけて、来るべき社会で活躍できる人材を育成

ふるさと教育の推進

平成30年度：12,906千円
(新規)

ふるさとを愛する心を育てるため、県版ふるさと教科書「わかやま何でも帳」を活用したふるさと教育を推進するとともに、その知識を試す機会を創出

ふるさと教育

毎年度、新中学1年生全員に和歌山県版ふるさと教科書「わかやま何でも帳」を配布し、県内すべての中学校でふるさと教育を実施



ふるさと和歌山をどれだけ知ってるか試してみよう

わかやまふるさと検定

受検者	県内の中学生・高校生
問題内容	わかやま何でも帳等から出題
コース	初級 中級 上級
出題形式等	選択式問題・WEB検定

歴史に興味のある生徒は

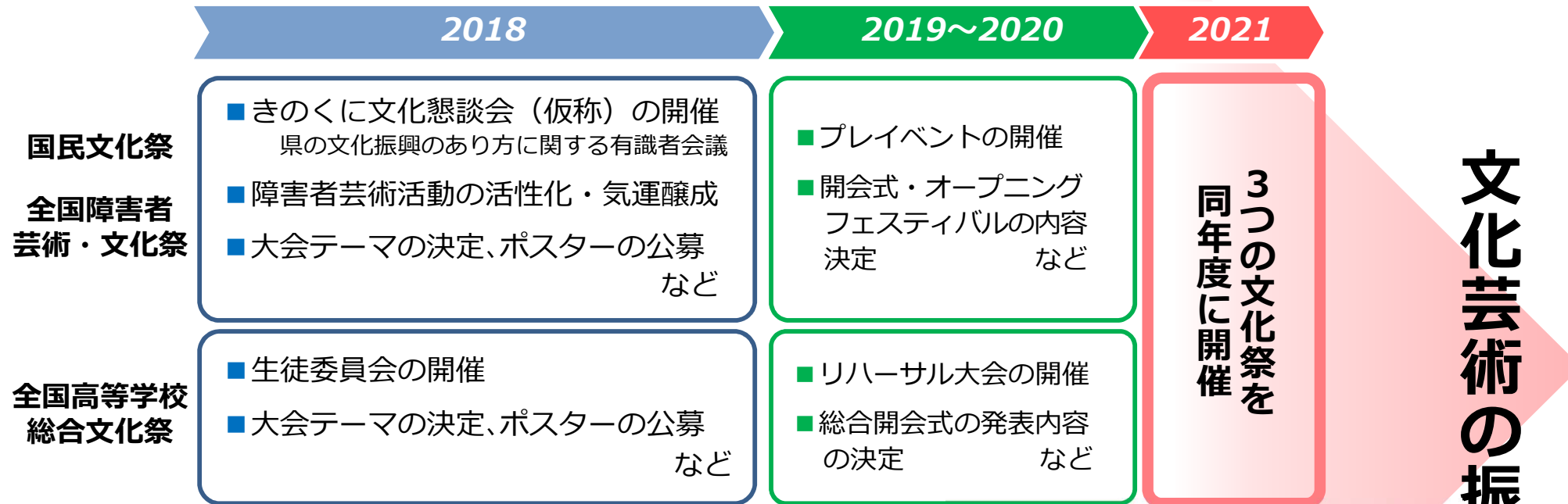
挑戦！わかやまの歴史

概要	わかやまの歴史や文化遺産等に関するクイズ大会
参加者	中学生3人が1チームを編成
問題内容	わかやま何でも帳、県立博物館展示物等から出題

和歌山の文化力向上

平成30年度：34,608千円
 (8,918千円)

2021年度の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭の開催に向けて、文化芸術活動への参加の気運を高め、文化芸術の裾野を拡大



文化芸術の振興

文化芸術活動への参加気運の向上

- ① 国文祭・障文祭開催1000日前PRイベントの開催
- ② 障害者の作品展・芸術活動支援のための研修会の開催
- ③ 高総文祭に向け、中学生・高校生への周知・意識の向上



国文祭・障文祭なら2017 開会式

生涯を通じたスポーツの振興

平成30年度：130,125千円
(51,403千円)

「ねんりんピック紀の国わかやま2019」や「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じて、生涯スポーツを推進

2017

国際・全日本マスターズ
陸上競技選手権
2017年10月27日
～29日

2019

全国健康福祉祭
(ねんりんピック)
2019年11月9日～12日
高齢者を中心とする国民の健康増進
や社会参加、生きがいの高揚を図る



2021

ワールドマスターズゲームズ
2021関西
2021年5月14日～30日
アジア地域で初開催
概ね30歳以上のスポーツ愛好者を
対象とした生涯スポーツの国際総
合競技大会

生涯スポーツの振興



2018

生涯スポーツを広め、楽しむ機会を充実

- ① ねんりんピック種目別リハーサル大会の実施
- ② 各種スポーツ大会を「関西マスターズスポーツフェスティバル」と冠称
- ③ 未経験者が気軽に参加できるスポーツ体験（パンダRUNなど）



女性や子育て世代が活躍できる社会づくり

平成30年度：7,034千円(4,057千円)
成長サポート資金融資枠：25億円

2つの同盟の更なる発展を図るとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進

女性活躍企業同盟

平成29年10月発足

- ① 「働く女性の活躍を応援する企業」であることを宣言
- ② 女性の能力が十分に発揮できる取組を実施
- ③ 女性が継続して働きやすい職場環境を整備し、全従業員に周知

結婚・子育て応援企業同盟

平成29年9月発足

- ① 「社員が安心して結婚・子育て生活を送れる企業」であることを宣言
- ② 育児・介護休業法の制度を就業規則に明記し、全社員に対して研修等を定期的実施
- ③ 結婚や子育てをしやすい職場環境を整え、全社員に周知

1 参加企業・団体を増やす

意識改革を促進するため、経営者や管理職、一般職員などの階層別にセミナーを開催

2 優れた取組を広める

先進的な取組を紹介し、意見交換するための交流会を開催

新規 3 施設環境を整える

中小企業融資制度の対象に「託児施設」や「女性用更衣室」の整備を追加

(「成長サポート資金」融資枠を活用)

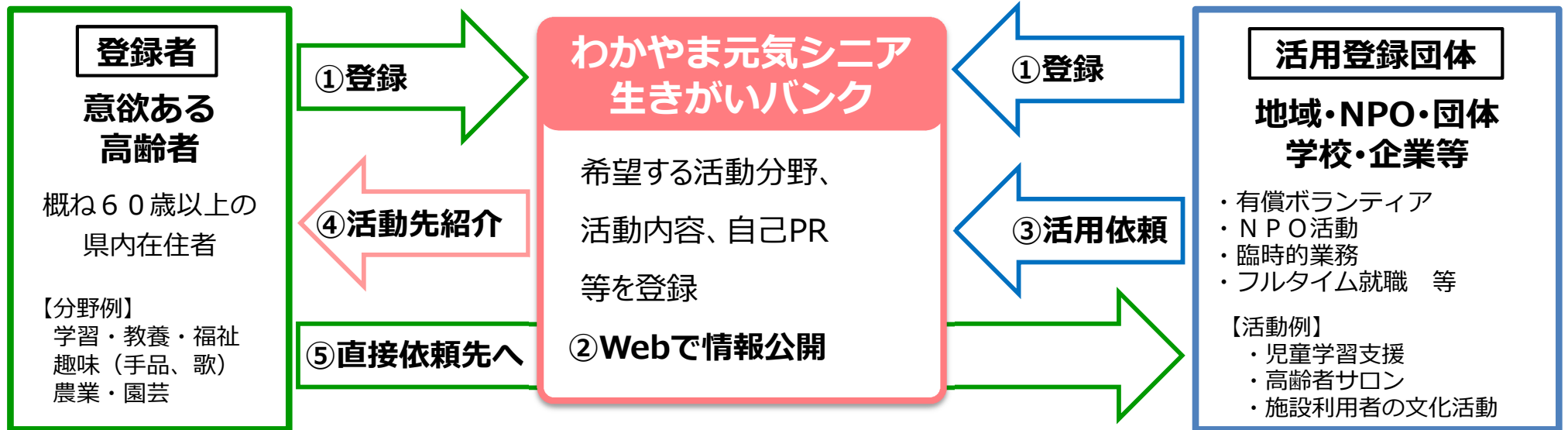


女性や子育て世代が安心して働くことができる職場環境を拡大

わかやま元気シニア生きがいバンク

平成30年度： 9,537千円
(15,518千円)

80歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化



- 1 登録者、活用登録団体を掘り起こす**
団体や企業への働きかけやイベント等でのPRを強化
- 2 活躍の場を拡げる**
バンク活用事例をHPや広報誌等へ掲載



高齢者が知識・経験を生かして活躍できる環境を県内全域で創出

和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト

平成30年度：31,241千円
(34,922千円)

ひと

しごと

いのち

くらし

地域

「就活サイクル」の地域社会への更なる浸透を図るため、県内各地でセミナーや合同企業説明会を開催

再就職支援「就活サイクル」の構築


2月を強化月間とする就活サイクルを企業と協働でスタート



相談・情報発信拠点の整備

和歌山県再就職支援センター
場所:Wajima本町ビル3F(和歌山市)

- ・就職の個別相談
- ・企業採用情報の発信



- 1 「就活サイクル」へ、より多くの企業・再就職希望者を呼び込む**
参画企業を増やして求人を充実させるとともに、県内各地でのセミナー開催や、広報誌・ホームページ・SNSなど多様なチャンネルを活用し、「就活サイクル」のPRを強化
- 2 強化月間でマッチングを高める**
合同企業説明会の開催を拡充(和歌山・橋本・田辺・新宮で開催)

都会で働く人や、結婚・出産等を機に離職した女性、高齢者の再就職を促進